

## [5] 病理コアラボ I 室

室 長:松原大祐 (4 号館 4 階, 内線:75266, matubad@ims.u-tokyo.ac.jp)

担当者:河原 元(病理コアラボI 3号館地下1階,内線:72205,FAX:03-5449-5407, kawahara@ims.u-tokyo.ac.jp)、安藤朋子(病理コアラボ I 3号館地下1階)

ホームページ : <http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/byori-corelabo/kimu.html>

### 【業務内容】

所内・所外からの病理組織の標本作製及び病理的解析の要請に対応いたします。

#### 1.病理組織標本作製

パラフィン切片作製、凍結切片作製、HE 染色、特殊染色、免疫染色（酵素抗体法、蛍光抗体法）、FISH/ISH 等の病理組織標本作製、組織アレイ（ブロック作製・標本作製）

#### 2.病理組織診断、病理組織学的解析

高度の病理学的専門性を必要とする解析・診断については原則的に共同研究として対応します。尚、共同研究の場合においては標本作製料金は実費扱いとして精算致します。詳細についてはお問い合わせ下さい。

### 【病理コアラボ利用規則】

病理コアラボは、研究所の共通業務として、各研究室から依頼された多数の検体を取り扱っています。また、病理コアラボは、関連機器の管理、メンテナンスを行っています。その費用は、基本的には検体取り扱いによって得た利益でまかなっています。従って、**検体作成に当たっては、個別に機器を使用するのではなく、コアラボに依頼して頂くことを原則と致します。**

しかし、特殊な事情により、どうしても個人で使用されたい場合には、以下の注意点を守って頂きます。守って頂けない場合には、その後の使用についてお断りすることがあります。

#### 使用時の注意点：

- ・ ある程度以上の技術を持った人の使用に限ります。
- ・ 感染性のあるサンプルを持ち込まないでください。
- ・ **火曜日、水曜日、金曜日**は河原学術支援専門職員、安藤技術職員が、依頼検体の対応に病理コアラボを全面的に使用します。従って、機器の個人使用は、月曜日、木曜日に限ります。
- ・ 機器を使用する場合には、必ず、前の週の火曜日、水曜日に病理コアラボの河

原職員に直接連絡、或いはメールをして、予め了解を得て下さい。

- ・ 機器を使用した際には、使用した機器(クリオスタット、ドライヤーなど)、使用時間(何月何日、何時～何時)、使用者の部署、名前、電話番号を、必ず備え付けのノートに記載して下さい。
- ・ 消耗品( スライドグラス、替え刃、筆、染色かご、マップ等) については、**全て持参して下さい。**
- ・ **使用後は現状復帰(故障した場合も含む)して下さい。**
- ・ 私物を置くことは原則として禁止します。
- ・ 個人のデータは、病理コアラボの PC には一切残さないで下さい。
- ・ 部屋への入室は、守衛室にて鍵を借り受け、各自責任を持って、開錠施錠を行って下さい。